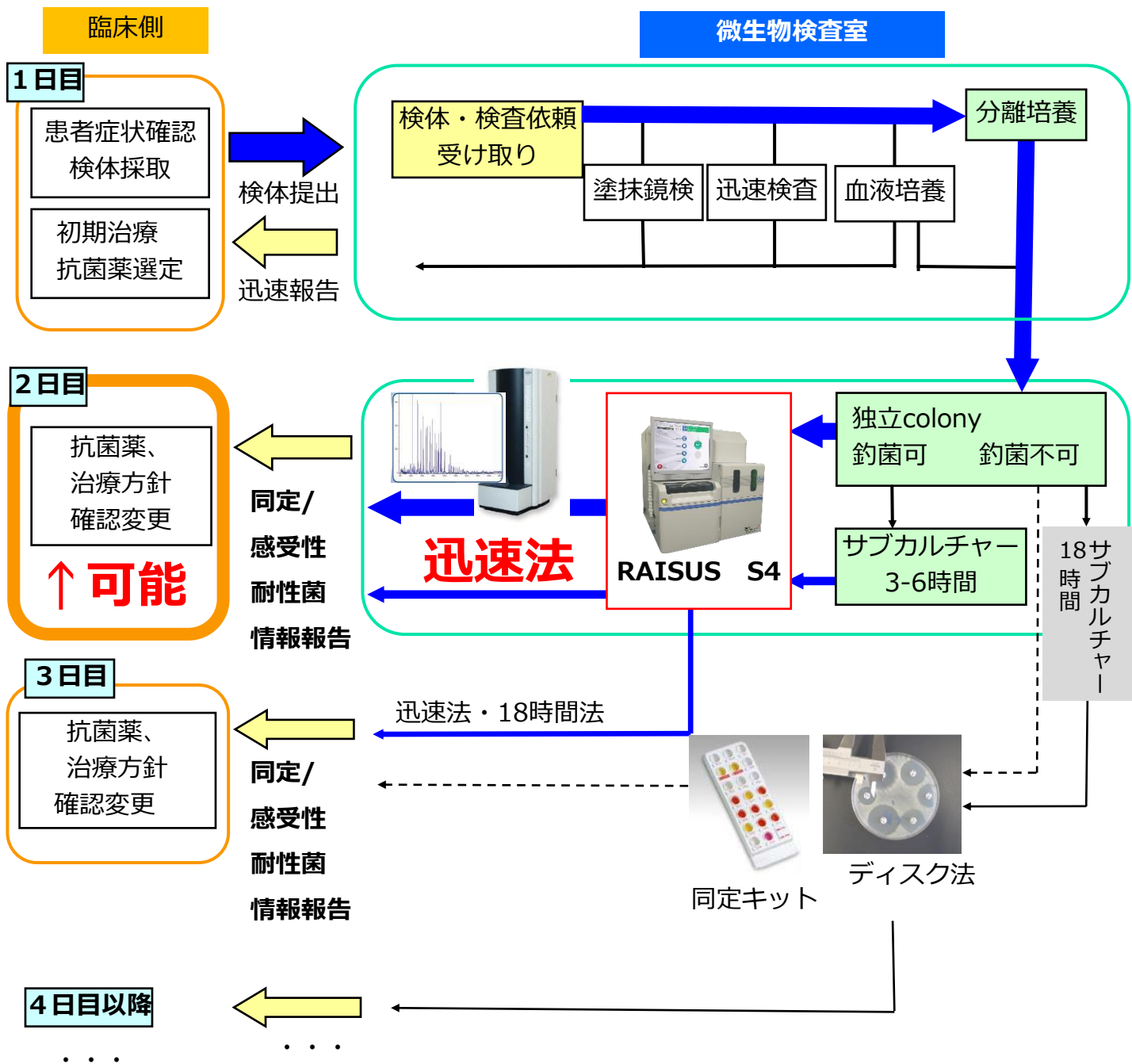
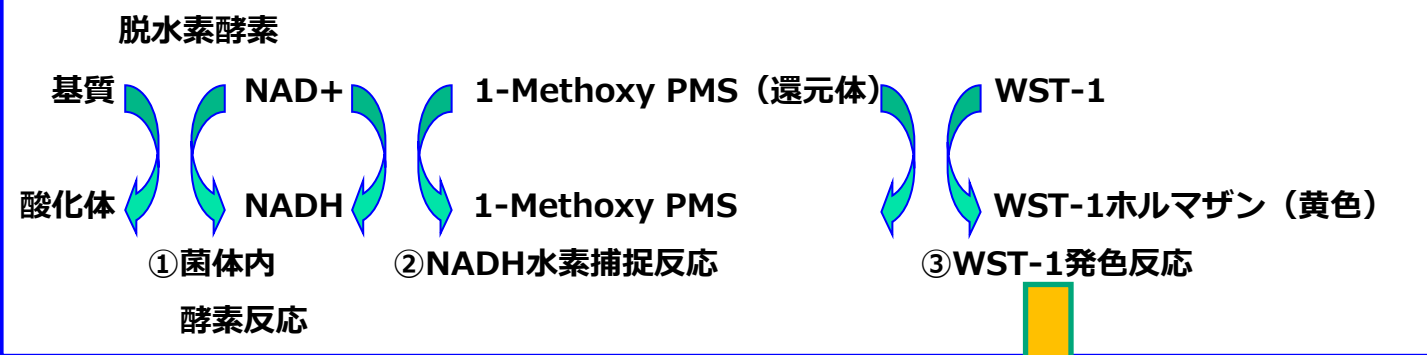


<ライサスS4を用いた細菌検査迅速運用のフローチャート例>

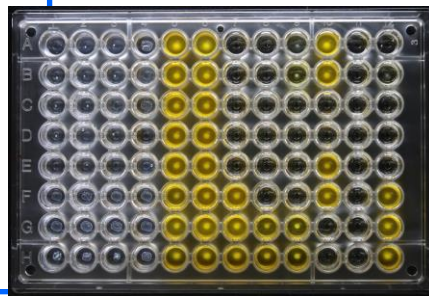


<ライサス法の薬剤感受性測定原理>

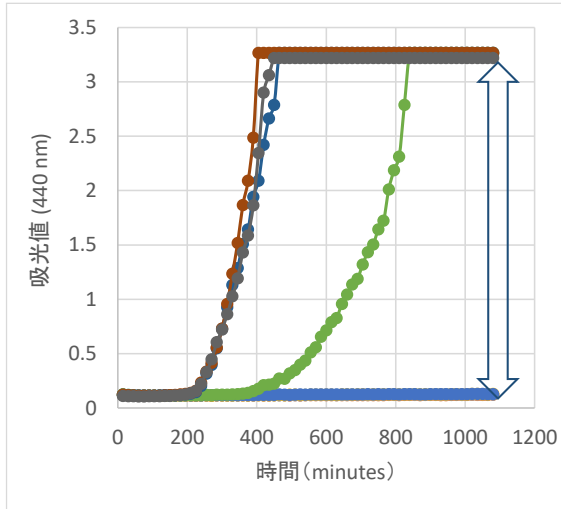


- WST-1（酸化還元指示薬）を用いて、菌の発育に伴う脱水素酵素活性を黄色色調変化として捉えることで、菌の発育を精度よく効率的に検出する。（黄色ウェルが菌の発育陽性イメージ）

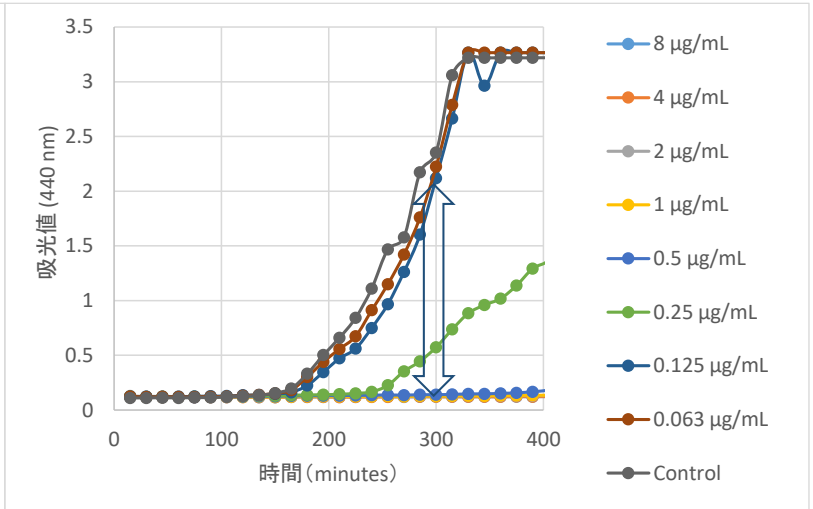
<培養後プレート>



<18時間法>



<迅速法>



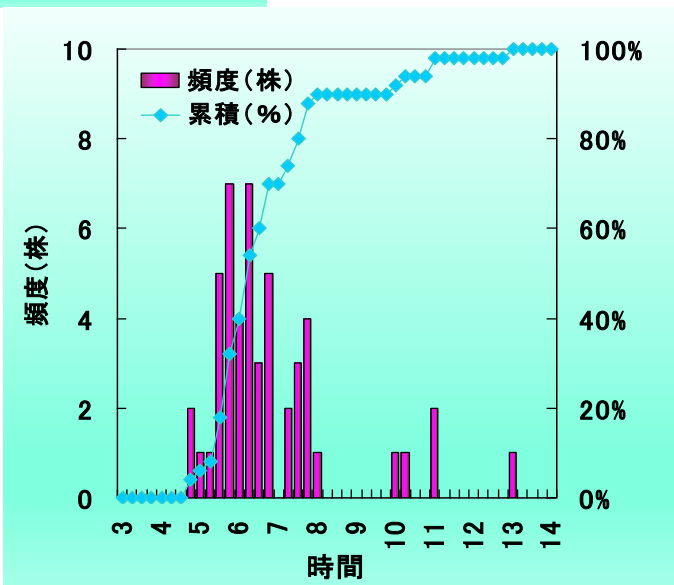
- 18時間後の薬剤不含ウェルと各薬剤濃度の吸光変化から発育・非発育を判定

- 薬剤不含ウェルが一定の吸光値に到達した時点で薬剤不含ウェルと各薬剤濃度の吸光変化から発育・非発育を判定



ライサス迅速法判定時間実績例 (S. aureus)

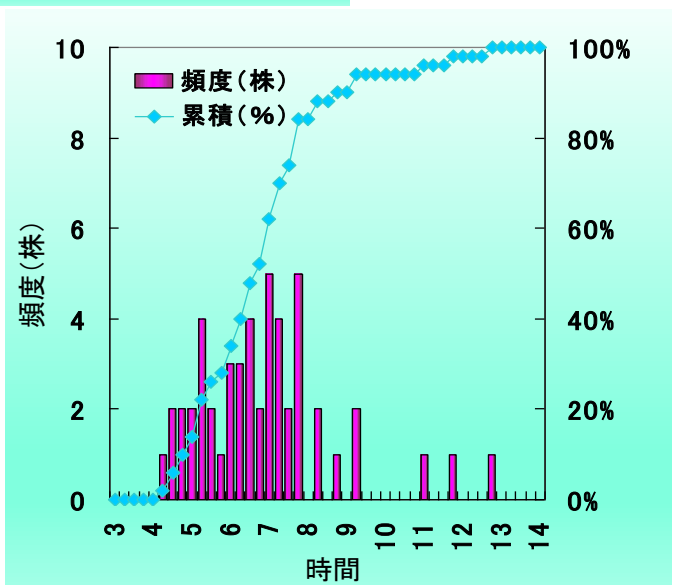
◆MPIPC



●4時間15分～12時間45分で判定

●平均判定時間は、約7時間

◆CFX



●4時間45分～13時間で判定

●平均判定時間は、約7時間

島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先：カスタマーサポート担当

TEL. 03-5846-5707

E-mail : support@sd.c.shimadzu.co.jp

臨床診断薬分野 医療関係者向けサイト

<https://clinical-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/>

